



2024年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月15日

上場会社名 株式会社ヨシムラ・フード・ホールディングス 上場取引所 東
コード番号 2884 URL <https://www.y-food-h.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 吉村 元久
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 安東 俊 TEL 03(6206)1271
四半期報告書提出予定日 2024年1月15日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（当社ウェブサイトにて、決算説明の動画配信予定）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年2月期第3四半期の連結業績（2023年3月1日～2023年11月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第3四半期	34,645	35.7	1,389	134.0	1,933	54.2	589	△7.7
2023年2月期第3四半期	25,526	17.0	593	10.7	1,253	65.3	638	52.8

（注）包括利益 2024年2月期第3四半期 1,091百万円（△35.8%） 2023年2月期第3四半期 1,700百万円（151.3%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第3四半期	24.86	24.71
2023年2月期第3四半期	26.83	26.67

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第3四半期	55,405	11,997	15.0
2023年2月期	31,900	9,850	23.4

（参考）自己資本 2024年2月期第3四半期 8,333百万円 2023年2月期 7,478百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年2月期	-	0.00	-	-	-
2024年2月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

（注）直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年2月期の連結業績予想（2023年3月1日～2024年2月29日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,679	33.6	1,574	131.9	1,575	19.0	749	22.2	31.48

（注）直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 3社 （社名）株式会社マルキチ、株式会社ワイエスフーズ、株式会社マタツ水産

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年2月期3Q	23,876,621株	2023年2月期	23,810,944株
② 期末自己株式数	2024年2月期3Q	208,823株	2023年2月期	2,323株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年2月期3Q	23,694,263株	2023年2月期3Q	23,797,985株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来情報に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報、(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う行動規制が緩和され、人流の拡大やインバウンド需要の回復など、経済活動・社会活動の正常化が進み、緩やかな回復基調がみられました。一方で、世界的なインフレ圧力により各国の金融引き締め政策の継続や、ロシア・ウクライナ情勢の長期化による景気後退懸念など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

国内の食品業界におきましては、原材料価格やエネルギー価格の高騰、円安進行に伴う物価上昇が続いており、値上げや商品価格の見直しが実施される中で、消費者の節約志向は一段と強まっており、引き続き、業界全体で厳しい経営環境が続くことが予想されます。

このような状況下において当社グループは、「中小企業支援プラットフォーム」による傘下企業の業績向上支援、および新たにグループ化した企業に対する統合作業やグループ企業とのシナジー創出に取り組むとともに、M&A案件の検討および実行を強化することで、企業価値の向上に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、国内子会社は、前期より取り組んできた価格改定や生産効率化の成果が出てきたこと、M&Aにより新たにグループ化した企業の損益を取り込んだことに加え、海外子会社は、新型コロナウイルス感染症への規制が緩和されたことにより業績が回復し、売上、営業利益ともに前年同期を上回りました。

以上により、売上高は34,645,483千円（前年同期比35.7%増）、営業利益は1,389,394千円（同134.0%増）、経常利益は1,933,838千円（同54.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、東京電力福島第一原子力発電所のALPS処理水の海洋放出に対し、中国が日本産水産物の輸入を全面禁止としたことで水産物（主にホタテ）の市場価格が下落したことから棚卸資産評価損を1,012,658千円計上し、589,098千円（同7.7%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 製造事業

製造事業につきましては、M&Aにより国内および海外事業の拡大を図るとともに、「中小企業支援プラットフォーム」の各機能による支援により、取引先の新規開拓や新商品の開発、生産効率化等の取り組みをおこなってまいりました。

こうした中、国内製造子会社は、原材料価格高騰に伴う価格改定の実施、および利益重視の戦略により不採算取引の見直しや生産品目の削減により生産効率を向上させたこと、M&Aにより新たにグループ化した企業（株式会社小田喜商店、株式会社細川食品、株式会社丸太兵衛小林製麺、株式会社林久右衛門商店、株式会社マルキチ）の損益を取り込んだことで増収増益となりました。また、海外製造子会社は、新型コロナウイルス感染症による社会経済活動の規制が緩和されたことで、一部のスーパー向けの売上が減少したものの、ホテル、飲食店向けの売上回復が継続し、増収増益となりました。その結果、外部顧客への売上高は27,391,024千円（前年同期比43.2%増）、セグメント利益は1,651,946千円（前年同期比101.9%増）となりました。

② 販売事業

販売事業につきましては、「中小企業支援プラットフォーム」による情報網等を活用し、既存取引先への深耕および企画販売の強化に努めてまいりました。

こうした中、国内販売子会社は、生協・宅配企業向けの売上が若干減少したものの、主に産業給食向けの売上が大幅に増加し、海外販売子会社は、新型コロナウイルスの影響が減少したことでホテル、飲食店向けの売上が回復し、増収増益となりました。その結果、外部顧客への売上高は6,944,217千円（前年同期比11.7%増）、セグメント利益は434,719千円（前年同期比67.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は55,405,525千円となり、前連結会計年度末に比べて23,504,617千円増加しました。これは主に、棚卸資産の増加5,127,015千円、受取手形、売掛金及び契約資産の増加2,556,619千円、現金及び預金の増加4,419,468千円、有形固定資産の増加3,946,021千円およびのれんの増加5,266,254千円があったことによるものです。

負債は43,408,394千円となり、前連結会計年度末に比べて21,357,532千円増加しました。これは主に、借入金等の増加20,040,391千円および支払手形及び買掛金の減少288,701千円があったことによるものです。

また、純資産は11,997,131千円となり、前連結会計年度末に比べて2,147,085千円増加しました。これは主に、利益剰余金の増加589,098千円、為替換算調整勘定の増加407,837千円および非支配株主持分の増加1,291,825千円があったことによるものです。

資産、負債が増加した主な要因は、第1四半期連結会計期間において株式会社マルキチの株式を取得し、当第3四半期連結会計期間において株式会社ワイエスフーズの株式を取得し連結の範囲に含めたことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月期の連結業績予想につきましては、現時点において2023年4月14日付「2024年2月期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表しました通期の連結業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,000,847	9,420,316
受取手形、売掛金及び契約資産	5,493,126	8,049,745
商品及び製品	5,337,167	10,123,067
原材料及び貯蔵品	1,977,252	2,318,368
その他	673,006	1,095,067
貸倒引当金	△99,913	△183,847
流動資産合計	18,381,487	30,822,718
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,134,849	6,717,530
機械装置及び運搬具（純額）	855,415	1,239,480
その他（純額）	2,926,866	2,906,143
有形固定資産合計	6,917,132	10,863,154
無形固定資産		
のれん	4,726,058	9,992,313
その他	443,171	423,442
無形固定資産合計	5,169,230	10,415,755
投資その他の資産		
その他	1,455,248	3,333,149
貸倒引当金	△22,191	△29,252
投資その他の資産合計	1,433,056	3,303,897
固定資産合計	13,519,420	24,582,807
資産合計	31,900,907	55,405,525

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,890,428	3,601,726
短期借入金	1,570,444	12,308,806
1年内償還予定の社債	—	340,000
1年内返済予定の長期借入金	3,396,285	6,195,306
未払法人税等	471,361	482,602
未払消費税等	98,359	288,843
賞与引当金	275,730	397,243
その他	1,474,092	2,177,463
流動負債合計	11,176,702	25,791,993
固定負債		
社債	—	200,000
長期借入金	9,918,368	15,881,377
退職給付に係る負債	84,919	98,306
その他	870,871	1,436,717
固定負債合計	10,874,159	17,616,401
負債合計	22,050,861	43,408,394
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,114,393	1,125,276
資本剰余金	1,974,489	1,985,359
利益剰余金	3,728,934	4,318,033
自己株式	△759	△167,611
株主資本合計	6,817,058	7,261,057
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	826	4,376
為替換算調整勘定	660,583	1,068,420
その他の包括利益累計額合計	661,409	1,072,797
新株予約権	546	418
非支配株主持分	2,371,031	3,662,857
純資産合計	9,850,046	11,997,131
負債純資産合計	31,900,907	55,405,525

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)
売上高	25,526,087	34,645,483
売上原価	20,329,868	27,649,971
売上総利益	5,196,218	6,995,511
販売費及び一般管理費	4,602,548	5,606,117
営業利益	593,669	1,389,394
営業外収益		
受取賃貸料	26,915	46,142
受取補償金	1,456	8,763
補助金収入	52,261	92,723
為替差益	511,866	303,512
その他	148,323	257,348
営業外収益合計	740,824	708,490
営業外費用		
支払利息	65,495	144,102
支払手数料	—	15,000
その他	15,111	4,944
営業外費用合計	80,607	164,046
経常利益	1,253,886	1,933,838
特別利益		
固定資産売却益	1,151	4,284
受取保険金	14,555	211,202
特別利益合計	15,706	215,487
特別損失		
固定資産除却損	1,581	7,567
固定資産売却損	1,595	—
関係会社清算損	5,788	—
減損損失	31,447	72,644
棚卸資産評価損	—	1,012,658
特別損失合計	40,413	1,092,871
税金等調整前四半期純利益	1,229,180	1,056,454
法人税、住民税及び事業税	524,620	795,050
法人税等調整額	64,895	△260,488
法人税等合計	589,515	534,561
四半期純利益	639,664	521,892
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1,235	△67,205
親会社株主に帰属する四半期純利益	638,429	589,098

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)
四半期純利益	639,664	521,892
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,615	5,081
為替換算調整勘定	1,050,141	564,998
持分法適用会社に対する持分相当額	156	△112
その他の包括利益合計	1,060,913	569,966
四半期包括利益	1,700,578	1,091,858
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,284,369	1,000,485
非支配株主に係る四半期包括利益	416,208	91,373

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	製造事業	販売事業	その他事業	計		
売上高						
日本国内	12,402,380	4,899,759	118,405	17,420,545	—	17,420,545
シンガポール	5,181,065	1,314,879	—	6,495,945	—	6,495,945
その他海外	1,540,163	—	—	1,540,163	—	1,540,163
顧客との契約から生じる収益	19,123,609	6,214,638	118,405	25,456,654	—	25,456,654
その他の収益(注) 3	—	—	69,432	69,432	—	69,432
外部顧客への売上高	19,123,609	6,214,638	187,838	25,526,087	—	25,526,087
セグメント間の内部売上高 又は振替高	275,670	403,767	67,117	746,554	△746,554	—
計	19,399,280	6,618,405	254,955	26,272,641	△746,554	25,526,087
セグメント利益又は損失 (△)	818,325	259,498	△100,043	977,779	△384,109	593,669

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

3. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸料収入等でありませ

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「製造事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において、31,447千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2023年3月1日 至 2023年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	製造事業	販売事業	その他事業	計		
売上高						
日本国内	21,111,817	5,450,116	173,525	26,735,459	—	26,735,459
シンガポール	4,785,947	1,494,100	—	6,280,048	—	6,280,048
その他海外	1,493,259	—	—	1,493,259	—	1,493,259
顧客との契約から生じる収益	27,391,024	6,944,217	173,525	34,508,766	—	34,508,766
その他の収益(注) 3	—	—	136,716	136,716	—	136,716
外部顧客への売上高	27,391,024	6,944,217	310,241	34,645,483	—	34,645,483
セグメント間の内部売上高 又は振替高	204,521	549,934	63,112	817,567	△817,567	—
計	27,595,545	7,494,151	373,353	35,463,050	△817,567	34,645,483
セグメント利益又は損失 (△)	1,651,946	434,719	△24,892	2,061,773	△672,378	1,389,394

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

3. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸料収入等でありま
す。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「製造事業」セグメントにおいて、のれんの減損損失を計上しております。なお当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において72,644千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「製造事業」セグメントにおいて、株式会社ワイエスフーズを連結の範囲に含めたことによるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において4,229,999千円であります。なお、のれんのうち、取得原価の配分が完了していないものにつきましては、暫定的に算定された金額であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。